

# 被災地そっちのけで 党利党略の自民・公明

今すべき  
ことは...

# 被災者支援と原発収束

原発を推進し安全対策を怠ってきた反省もなく、確固たる展望もないまま不信任案を出した自・公両党と、それに一部が同調し内紛を繰り返す民主党。ともに国民と被災者そっちのけで無責任な姿勢にあきれざるばかりです。いま国会がすべきことは、震災問題や原発問題で被災者の要求実現のための議論とすみやかな実行です。首相の出处進退をめぐる抗争というような政治を、国民は求めていません。日本共産党は、国会で堂々と論戦を挑み、被災者の要求を実現するために、菅内閣の間違いはただし、厳しく批判していくという姿勢で臨んでいます。そういう政治の中身をめぐるともな論争こそが、国会がするべき本来の姿ではないでしょうか。

## 守山市議会6月定例会 10日開会

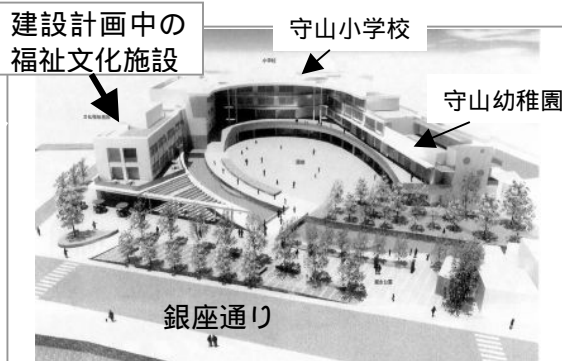
「福祉文化交流施設」整備事業費 3億9705万円

財源 国からの補助金 5100万円  
一般財源 1億1375万円  
中心市街地活性化事業債（借金） 2億3230万円

### 中活の拠点「福祉文化交流施設」建設費予算化

守山市議会6月定例会は、6月10日（金）開会、29日（水）までの20日間の会期です。発表された議案一般会計補正予算案には、新築された守山小学校・幼稚園に併設される「福祉文化交流施設」整備事業費3億9705万円が計上されています。中心市街地活性化事業の中で進められる施設整備。市民のみなさんに歓迎される施設となるよう、しっかりと議論が必要と見られます。

守山駅前から中山道付近などの中心市街地のにぎわいを取り戻そうと、昨年3月に国の認可を受け、「中心市街地活性化事業」が取り組まれていきます。総事業費57億円余の大規模プロジェクト。現在、事業着手されているのが、守



議案説明によると、1階が地域活性化施設として、飲食のテナント2店舗、2階は作品展示をする市民ギャラリーや自主教室の発表や練習の場などの貸し室、3階は介護予防のプレイルームなど主に高齢者福祉を目的として活用するとしています。施設全体の管理及び1階の地域活性化施設の運営を、「まちづくり会社・みらいもりやま21」に指定管理し、2階は生涯学習課、3階は地域包括支援センターがその運営にあたる計画です。シャッターの閉まった

山小学校と幼稚園の合築施設。さらにそこに併設される「仮称・福祉文化交流施設」の建設費が、今回、補正予算に計上されました。

ままの店舗が目立っていた駅前通りを、なんとか活性化させようと、さまざまな事業が進められるなかで、行政の思いと地元事業者の思い、また市民の気持ちとマツチすることが、この事業の成否を分けると指摘されています。

「まちづくり会社」（守山市も出資金の三分の一を出資）は、現在、中山道に事務所を移転し、市民が集うイベントなど企画など行っていますが、大きく成功するところまでは至っていないようです。

この「福祉文化交流施設」は、いわば「中心市街地活性化事業」のメインの施設の一つです。それだけに市民が積極的に利用し、「この建物を造ってよかった」と実感できるほどの活用が求められます。市民のみなさんのアイデアや要望をお寄せください。

### 日本共産党の代表質問封じ込め？

8日開かれた「議会改革特別委員会」は、守山市議会の代表質問のあり方について議論が集中しました。これまで1人であったも公党を名乗っている会派については、代表質問を認められていたが、今後は交渉会派（構成員3人以上）にしていく方向性が打ち出されました。これでは、日本共産党だけでなく、公明党も代表質問が出来なくなるこ

になります。「代表質問」の重みを考えず、政党の存在も軽視、少数だからと言う理由だけで発言の機会を制限することが果たして、真の議会改革でしょうか。市民に開かれた議会基本条例の精神にも、全国各地で取り組まれている議会改革にも逆行する動きです。29日に開く全員協議会で、決定されようとしています。

日本共産党  
**守山民報**

守山市議会議員  
**こまき一美**

党守山市くらし対策責任者  
**まつば栄太郎**

TEL・FAX 582-3785  
http://komaki.jcp-web.net/

TEL 584-3077  
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 529号 2011・6・8 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45～6:45 守山駅で街頭宣伝しています。